

23年度B日程 国語 解答

問 一 ① 基盤 ② 存続 ③ 固執 ④ 奨励 ⑤ 愚行  
⑥ とうしゅう ⑦ 従順 ⑧ 率先 ⑨ 類推 ⑩ 通底

問 二 a オ b ア c ク d イ e コ

問 三 A ウ C オ M ア O エ

問 四 私たちは自分の所属集団で認められて承認欲求を満足し、その所属集団に貢献して達成感を得ようとする心理構造

問 五 現代では人間関係が限定された集団ばかりになってしまい、人間は所属する集団ごとに異なった役割が求められるので、その環境に適応するために、それぞれの集団に応じて自己を柔軟に演出するから、結果として複数の自分が存在するようになること。

問 六 I ウ II カ III キ IV エ V ケ

問 七 E 気まづくなつた場などをうまく言って何とか丸くおさめること  
外見だけを飾ってうまくごまかして体裁をよく見せること  
G あちこちに言いふらすこと・多くの人に言い広めること  
J 期待や希望のようにならず、心残りなことがこの上ないこと  
L 心の中の考えを包み隠さずにすべて打ち明けること  
N その考えに反対して、別のことを主張（表明）すること

問 八 F 職場と趣味のサークルでふるまいや主張が異なること  
H 所属集団ごとの発言にかかわる特別な背景

問 九 フェイク

問 十 “本当の自分” ありのままの自分

問 十一 ※ 問題文において展開されている日本と米国の違いのポイントである、集団主義で集団先行の日本と個人主義で個人先行の米国、それぞれの特徴を読解して、その違いを端的に現わす具体的な事例を、解答者の日頃の社会的な関心、問題意識に基づいてどれだけ客観的に説明出来ているかを評価する。小論文的問題で論述力が問われる問題。

出典 石川 幹人『だからフェイクにだまされる』 ちくま新書  
2022年5月10日 第一刷発行